

産業文教常任委員会記録

1 委員会を開催した年月日、場所及び時間

令和8年3月17日（火曜日） 議会第1委員会室
午後1時30分 開議 午後2時35分 閉議

2 出欠委員の氏名

委員長 川口雅登（○）
副委員長 備後克則（○）
委員 稲安保（○）
〃 岡本佐市（○）
〃 北川真知子（○）
〃 酒井一人（○）
〃 新田義昭（○）

3 傍聴した者 なし

4 出席した説明員

岸市長、川口副市長、八島教育長、前田産業建設部長、山本農林水産課長、寺井商工観光課長、野崎危機管理監、田中上下水道課長、西野生活安全課参事、岩本上下水道課参事、中島教育次長、関軒企画振興室長、西村生涯学習課長、牧山文化財課長、広島スポーツ推進室長 ※市長はあいさつ後、退室する。

5 出席した事務局職員

事務局長 木村 繁成、次長 野崎 直美、係長 澤田 朋子

6 会議に付した議件

別紙付託表のとおり

7 会議の概要

川口委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。

次に、岸市長からあいさつがなされ、その後、退室する。

次に、議案付託表および報告表に基づき、執行部から説明を聴取し、質疑がなされる。

終了後、採決に入り、議案3件は全会一致で可決する。詳細は、別紙「委員会審査結果」のとおり。

次に、陳情1件については聞き置く。

次に、付託案件以外の委員会所管事項についての質問・答弁がなされる。

次に、委員会における継続調査の申し出を議長に提出すること、併せて、委員会報告については、委員長に一任することを決定する。最後に、川口委員長が閉会のあいさつをし、会議を閉じる。

8 主な質問・応答等

【付託案件等に対する主な質疑・答弁】

新田委員：公営住宅の駐車場は1区画1,000円ということだが、市役所職員の駐車場料金と比較してどうか。

前田産業建設部長：市役所職員駐車場は月額2,000円を1,200円に下げている。

新田委員：1,200円なら問題ない。公営住宅がそれより高ければ問題だ。

前田産業建設部長：月額1,000円の根拠は石川県の算定式を参考にしたものである。

備後副委員長：羽咋まちづくり株はコロナや地震から回復し過去最大の売り上げとのことだが、売り上げの内訳はどうなっているのか。

寺井商工観光課長：売り上げは、全体的に伸びている。特にジェラートが伸び、レストランや物販も増加している。

新田委員：全国の道の駅を視察しているが、本市の道の駅の県内順位はどうか。

川口副市長：規模や方式で異なるが、売り上げは白山や七尾が大きいと考えられる。本市は県内で人気は1番だと言われている。来年度は増築予定で、売り場や加工品を拡充する。外から稼ぐ施設として重要であり、ふるさと納税の商品開発も進める。人口減少で市内消費は減るため、市外向け販売を強化し、事業者にも活用してもらいたい。

稲安委員：羽咋まちづくり株の予算は営業利益がほぼトントンに見えるが、今年度の実績と比較して低いのではないか。

寺井商工観光課長：前年度ほどの利益は見込まず、売り上げは96%、営業利益は94%を想定し、支出は98%に抑えた予算である。

新田委員：ふるさと納税は現在も7億円に届かない。一方で宝達志水町は18億5,000万円と大きく差がある。市長は10億円を目指すと言っていたが伸びが小さい。返礼品の米の割合や自然栽培米、神子原米、一般米が返礼品に含まれているのか。

寺井商工観光課長：米は全体の約45%で、神子原米は元々の数量が少ないため、ごくわずかである。主力は能登米である。

新田委員：自然栽培米だけでなく一般米を求める声もある。農協と業者で価格差もあるが、能登米は甘く評価が高いため、自然栽培米とともに積極的に宣伝し売上を伸ばすべきだ。良質な米としてしっかりPRしてほしい。

寺井商工観光課長：自然栽培米は人気だが数量が少なく価格も高い。生産者と連携し拡大を図りたい。

【付託案件以外のその他に対する主な質問・応答】

備後副委員長：粟ノ保公民館整備について、人口減少を踏まえ公共施設の統合や最適化が必要であり、周辺の学校施設との関係をどう考えるのか。

川口副市長：新年度に基本計画を計上している。旧保育所改築と新築を検討したが、改築は費用や利便性に課題があり、新築が望ましい。人口減少に合わせ規模や機能を精査し、学校施設の併用なども含め、コストを抑えつつ地元意見を踏まえて検討していく。

備後副委員長：公共施設整備は進んでいるが、総量縮小の中でどこを減らすかが見えない。粟ノ保公民館を起点に、周辺施設も含め将来の財政負担軽減を真剣に検討すべきだ。学校施設の老朽化も踏まえ全体で議論してほしい。

北川委員：道の駅の足湯に風よけを設置してほしいとの要望がある。

寺井商工観光課長：風雨時は利用が少ないため、現時点で設置予定はない。

北川委員：LAKUNA はくいのライトアップの電気代はどの程度か。

前田産業建設部長：LED のため従来より電気代は抑えられていると考える。

北川委員：羽咋運動公園の遊び場で子どもが道路に出る危険があり、防止策を検討してほしい。

前田産業建設部長：現地を確認し、必要な対策があれば検討する。

北川委員：千里浜ヒルズ横のホテル建設の予定はどうなっているのか。

寺井商工観光課長：資材高騰で遅れており、今年秋頃に着工の可否が示される予定だ。

稲安委員：復興公営住宅の申込状況はどうか。要件緩和の考えはあるか。

前田産業建設部長：一次募集で 58 件、二次募集で 4 件、残りは先着順で募集する。現時点では緩和せず、同条件で募集を続ける。

稲安委員：今後、残るようであれば要件緩和を検討していただきたい。

新田委員：小学校は統合が進んでいるが、中学校はどう考えるのか。将来どの程度の人数で統合を検討するのか考えを聞きたい。

八島教育長：重要なのは子どもに適切な教育環境を確保することである。小学校では複式学級が 2 学級になると統合が必要と考えている。現在は統合により一定の規模が確保されている。中学校については部活動も含め総合的に判断する必要がある。邑知中学校は小中一貫的な面もあり、現状では 5・6 年生の人数が多く当面は教育活動に支障はないと見ている。しかし 4 年生以下は少なく、今後 20 人以下の学年が進学してくる段階で検討時期が来ると考える。一方で柔道部の影響で市外から生徒が集まる動きもある。こうした要素を踏まえ、今後 3～4 年の間に方向性を示す必要があると考えている。

令和8年第1回羽咋市議会定例会議案付託表

産業文教常任委員会

番 号	議案番号	議 件
1	議案第21号	羽咋市営住宅条例の一部改正について
2	議案第22号	羽咋市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
3	議案第23号	羽咋市農業水利施設管理基金条例の廃止について

令和8年第1回羽咋市議会定例会議案報告表

産業文教常任委員会

番 号	議案番号	議 件
1	報告第2号	業務委託契約の締結の報告について